

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【公開番号】特開2015-66202(P2015-66202A)  
 【公開日】平成27年4月13日 (2015.4.13)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-024  
 【出願番号】特願2013-203476(P2013-203476)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

H 0 4 R 17/00 (2006.01)

G 0 1 N 29/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

H 0 4 R 17/00 3 3 2 B

G 0 1 N 29/24 5 0 2

【手続補正書】  
 【提出日】平成28年8月30日 (2016.8.30)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】請求項 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【請求項 7】

請求項 6 に記載の超音波デバイスにおいて、前記平面視において前記複数の前記交差部の間の領域に位置する前記第 1 直線部と、前記第 2 方向に沿って延設されている補助補強体部とを有する補強体を備えることを特徴とする超音波デバイス。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 3 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 3 8】

音響整合層 5 4 上には音響レンズ 5 5 が積層される。音響レンズ 5 5 は音響整合層 5 4 の表面に密着する。音響レンズ 5 5 の外表面は部分円筒面で形成される。部分円筒面は第 2 導電膜 3 1 に平行な母線を有する。部分円筒面の曲率は、1 筋の第 1 導電膜 2 9 に接続される 1 行の素子 2 3 から発信される超音波の焦点位置に応じて決定される。音響レンズ 5 5 は例えばシリコン樹脂から形成される。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 5 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 5 1】

その他、素子ユニット 1 7 a では、例えば図 7 に示されるように、個々のセグメント 6 1 a、6 1 b がさらに小セグメントに細分化されてもよい。ここでは、1 つのセグメント 6 1 a、6 1 b はそれぞれ 3 つの小セグメント F、G、H に分割される。分割にあたって 2 筋の第 2 導電膜 3 1 ごとに共通にグラウンド線が確立される。こうして 2 列 3 行の素子 2 3 群ごとに小セグメント F、G、H が形成される。補強体 6 2 は、第 1 方向において分

離されて配置されている複数の交差部を有する。個々の小セグメント F、G、H に属する振動膜 2 4 は駆動信号の供給に応じて同時に振動する。補強体 6 2 の第 3 長尺片 6 5 は 2 行の素子 2 3 群ごとに分断される。こうして小セグメント F、G、H はアレイ状に配置されることができる。